

(仮)第一小中一貫校の整備について

はじめに

宇治市教育委員会では、平成19年11月に本市の小中一貫教育と学校規模等適正化の方向性として「NEXUSプラン」を策定した。この中で、市内の学校を小中一貫校と小中一貫教育校の2つの形態で再構築することを示した。

今回整備することとなった宇治小学校は、市内で一番古くかつIs値が最も低い校舎を有していることから全面改築を行うことで検討してきた。その際に学校規模適正化の課題や分散進学 of 是正の問題も合わせて解決できる方策として、小中一貫校として建て替えることが有効であるとの考えに至った。そのような状況の中、宇治小学校区の様々な団体で構成される「新しい宇治小学校づくり委員会」からも要望書を受け、宇治小学校を小中一貫校として整備することに決定したところである。

小中一貫校整備については、他市での事例はあるものの、本市では最初の取り組みとなる。今回整備する小中一貫校が、小中一貫教育の効果をより高め、宇治小学校がこれまで培ってきた伝統を将来に渡って引き継いでいくことができるよう整備する。

整備にあたって

(1) 敷地

現宇治小学校の敷地に整備する。

場所：宇治市五ヶ庄三番割27ほか

敷地面積：約19,000㎡(平成20年度中に測量予定)

(2) 学級数・児童生徒数

児童生徒数：1,000人程度

学級数：小学校部分22学級 中学校部分11学級程度(特別支援学級を含む)

事業スケジュール(予定)

(1) 基本構想・基本設計及び実施設計 平成20年7月～平成21年12月

(2) 建設工事 平成22年7月～平成24年2月

(3) 供用開始 平成24年4月

基本コンセプト

これまでの宇治市の学校施設のコンセプトを引き継ぎつつ、NEXUSプランを具現化するための観点を加え、本整備の基本コンセプトとする。

- (1) 子どもたちが光輝く小中一貫教育を推進する学校
 - ・ 前期・中期・後期のまとまりに即した系統的、組織的な教育指導が行える施設
 - ・ 多様な異学年交流ができる施設
 - ・ 多様な発達段階の子どもたちが、のびのびと活動できる空間や施設
 - ・ 小・中学校教員が協働して一つの学校として機能する施設
- (2) 多様な教育課題に対応できる学校
 - ・ 機能性や柔軟性を持つことにより、多様な教育内容や教育方法に対応できる施設
 - ・ 主体的な活動の支援や豊かな創造性を引き出す空間や施設
 - ・ 豊かな心、健やかな体を育むことができる施設
- (3) 安全・安心で、子どもたちが楽しく通える学校
 - ・ 子どもたちの安全・安心を確保し、子どもたちが快適に生活できる施設
 - ・ 潤いの場、交流の場等、心のゆとりと豊かさを育む空間や施設
 - ・ 学校生活の中で、集中とやすらぎの調和がとれた施設
- (4) 伝統を継承し、地域の風が行き交う学校
 - ・ 地域の教育力を積極的に活用した教育活動ができる施設
 - ・ 140年の歴史と伝統を継承し、地球環境やまちづくりに配慮した地域のシンボルとなる施設
 - ・ 地域の生涯学習やコミュニティの拠点となる施設

設計業務委託

- (1) 請負業者 (株) 佐藤総合計画 関西事務所
- (2) 履行期間 平成 20 年 7 月 16 日から平成 21 年 12 月 28 日まで
- (3) 業務内容 (仮) 第一小中一貫校整備の基本構想、基本設計及び実施設計